

【22_311クロガキメルマガ】夏時間から冬時間の切り替わり

〇〇さん

こんにちは！クロガキ(クロ)です。

ご心配おかけしていた家庭内コロナ禍もナントカ落ち着きまして、お陰様で今日から平常運転しています。

結局僕自身は体調を崩すことなく乗り切れたので、引き続き体調管理に気を付けてがんばろうと思います。

さて、ご存知の方も多いと思いますが

先週末から米国も夏時間から冬時間に切り替わりました。

ニュースによると、米国は来年から正式に夏時間を撤廃するという話もありますが

▼(参考)既に法案は可決済み▼

<https://gigazine.net/news/20220316-us-summer-time-permanent/>

とりあえず10月末から先んじて欧州、そして先週末に米国が冬時間に移行した事で

僕を含め、マーケットタイムを意識してトレードする人には、この時間の切り変わりは非常に重要です。

ただ、重要な割にけっこう混乱している人が多いようなので

今日は混乱することなく、夏⇄冬時間の切り替えの対応方法を、なるべく分かり易く整理してみようと思います。

□
└─ ■ 意識するのは『現地の時刻』
└──────────────────┘

時差が変わるときに注意しておくといいいのは、常に『基準』を決めておくことです。

僕は、基本的に『ロンドン初動～なるべく早いうち』にトレードをするタイプなので

基準とするのは「そもそも、ロンドンオープン8時が“日本時間何時”なのか？」を確認する事です。

例えば、日本が午前10時であれば現在のロンドンは午前1時です(時差9時間)。

つまり、チャートの表示時刻が何時であろうが、ロンドン初動からトレードを開始するのであれば

『日本時間では、7時間後の17時(早番から入るなら16時)からチェックを始めれば良い』

ことに変わりありませんね。

この時に、自分が起用しているブローカーのチャート時刻にズレがあるなら

『自分がチェックする時点で、チャートの時刻が何時なのか』を確認して、その時刻を記憶しておけば

もうチャートの時差も気にする必要はありません。あとは来年の3月くらいまではこのままです(笑)

チャート上の時差も、各ブローカーによって基準が違うので混乱しがちです。

ですが『自分が取引するマーケット日本時間との時差』を基準として考えておき

その後チャートとの時差を把握しておけば、混乱することなくチャートの監視時刻を確認しておくことができますよね。

僕は、いつもこんな感じで時差確認をして覚えておくという作業を行っています。

(作業と言っても、数分でできますからね 笑)

ちなみに、今朝のモーニングライブも、そんな感じの話をしました。

▼ご参考(ライブアーカイブ▼

<https://youtu.be/7vKv0ltRhKo>

細かい話ではありますが、地味なこういったちょっとした作業も、日々のトレードのルーティンに大きく影響するものなので

手を抜かずにやっておくことが大事ですね。